

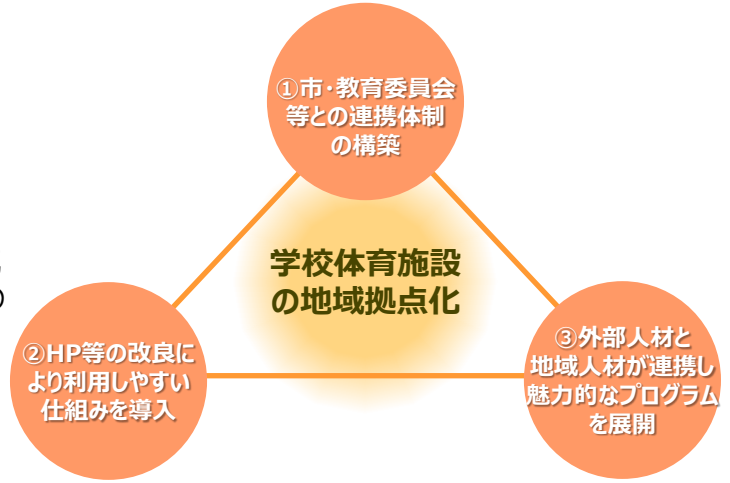
## 山間部の学校体育施設において多様な世代向けのプログラムを提供

- 岐阜県飛騨市神岡地域の小中学校体育館において、一般・ファミリーに向けたスポーツプログラムを提供。夜間の学童保育を兼ねたプログラムや部活動改革を見据えたプログラムについては、次年度以降の実施に向けて有識者にヒアリングを行った。

### 事業の趣旨

- 地域におけるスポーツプログラム充実のため、①行政との連携、②HPによる広報、③外部人材の導入・魅力的なプログラムの提供に取り組んだ。

また、部活動改革の流れを踏まえ、地域部活動の担い手のあり方を検討するため、部活動と地域クラブの活動の連携について実証的な取組を行うこととした。



### 事業の概要

- ① 事業推進委員会による検討
- ② 先行事例研究（ヒアリングを含む）
- ③ アンケート調査（対象：一般人向けプログラム）
- ④ 保育の観点を取り入れた取組、部活動をサポートする取組に関する有識者ヒアリング
- ⑤ HPの開設、本事業に係る活動の広報
- ⑥ 海外大学のインターンの受入れ調整
- ⑦ 国内大学生への活動の広報、参加促進
- ⑧ ①～⑦の評価、将来的な展望の検討

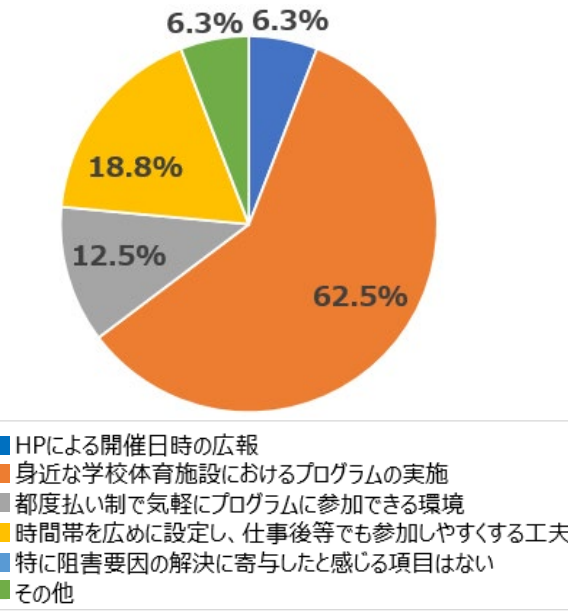


※⑥、⑦について、コロナの影響により受入れは断念し、次年度以降の実施に向けた調整・広報を行った。

### 事業の成果

- アンケート結果から、回答者全員から好意的な反応が得られた。また、「健康意識に変化があった」との回答が約7割。
- 「スポーツ参加阻害要因の排除に寄与した要素」として、「身近な学校体育施設の活動であることが解決に寄与した」との回答が60%を超えている。
- 課題として、「HPの周知・充実」「寒冷地の対策（暖房等の導入）」が挙げられた。

Q：スポーツ阻害要因の解決に有効だった点



### 今後の展望

- 本事業で実施したプログラムを継続する。
- 今年度実施できなかったプログラムについては、次年度の実施に向けた調整・準備を行う。
- 施設面の課題も明らかになったため、学校管理者等と協議しつつ、実現可能な解決の方向性を模索する。
- 本事業の取組内容を継続し、学校体育施設がより身近で、かつ地域のコミュニティの核となるような場となることを目指す。